

1. 新たなデータによる地すべり機構の検証

事 項	要 点	備 考																																																	
1-2 地下水解析	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 安定水位を把握するため、平成 17 年 10 月より地下水位観測を開始した。 観測の結果、地下水変動の特性を把握することができた。 </div> <p>昨年度掘削された地下水位観測孔の概要を表 1-2 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 1-2 地下水位観測孔</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">地区</th> <th style="width: 25%;">孔番</th> <th style="width: 25%;">観測期間</th> <th style="width: 25%;">地区</th> <th style="width: 25%;">孔番</th> <th style="width: 25%;">観測期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">大滝</td> <td>OT05-1*</td> <td>平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">迫</td> <td>SK05-1'</td> <td>平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月</td> </tr> <tr> <td>OT05-2'</td> <td>平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月</td> <td>SK05-2'</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td>OT05-3'</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>SK05-3'</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td>OT05-4'</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>SK05-6'</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td>OT05-5'</td> <td>平成 17 年 11 月～平成 18 年 9 月</td> <td>SK05-7'</td> <td>平成 17 年 11 月～平成 18 年 9 月</td> </tr> <tr> <td>OT05-7'</td> <td>平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月</td> <td>SK05-8'</td> <td>平成 18 年 2 月～平成 18 年 9 月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">白屋上流</td> <td>SY05-1'</td> <td>平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">寺尾</td> <td>TR05-1'</td> <td>平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月</td> </tr> <tr> <td>SY05-2'</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>TR05-2'</td> <td>平成 18 年 12 月～平成 18 年 9 月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">井戸</td> <td rowspan="2">ID05-1'</td> <td rowspan="2">平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月</td> <td>TR05-3'</td> <td>平成 18 年 1 月～平成 18 年 9 月</td> </tr> <tr> <td>TR05-4'</td> <td>平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">※ OT05-1 は調査孔を水位観測孔として使用</p>	地区	孔番	観測期間	地区	孔番	観測期間	大滝	OT05-1*	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月	迫	SK05-1'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月	OT05-2'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月	SK05-2'	〃	OT05-3'	〃	SK05-3'	〃	OT05-4'	〃	SK05-6'	〃	OT05-5'	平成 17 年 11 月～平成 18 年 9 月	SK05-7'	平成 17 年 11 月～平成 18 年 9 月	OT05-7'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月	SK05-8'	平成 18 年 2 月～平成 18 年 9 月	白屋上流	SY05-1'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月	寺尾	TR05-1'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月	SY05-2'	〃	TR05-2'	平成 18 年 12 月～平成 18 年 9 月	井戸	ID05-1'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月	TR05-3'	平成 18 年 1 月～平成 18 年 9 月	TR05-4'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月	<p>地下水位観測孔： 地下水位観測のためのボーリング孔を掘削し、自記水位計を設置。</p>
地区	孔番	観測期間	地区	孔番	観測期間																																														
大滝	OT05-1*	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月	迫	SK05-1'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月																																														
	OT05-2'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月		SK05-2'	〃																																														
	OT05-3'	〃		SK05-3'	〃																																														
	OT05-4'	〃		SK05-6'	〃																																														
	OT05-5'	平成 17 年 11 月～平成 18 年 9 月		SK05-7'	平成 17 年 11 月～平成 18 年 9 月																																														
	OT05-7'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月		SK05-8'	平成 18 年 2 月～平成 18 年 9 月																																														
白屋上流	SY05-1'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月	寺尾	TR05-1'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月																																														
	SY05-2'	〃		TR05-2'	平成 18 年 12 月～平成 18 年 9 月																																														
井戸	ID05-1'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月		TR05-3'	平成 18 年 1 月～平成 18 年 9 月																																														
				TR05-4'	平成 17 年 10 月～平成 18 年 9 月																																														

1. 新たなデータによる地すべり機構の検証		要 点	備 考																																																																																																																																																	
事 項																																																																																																																																																				
1-2 地下水解析 1-2-1 大滝地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前面すべり内の地下水位は、すべり面の上位に分布する。 ・ OT05-1 孔の水位は、貯水位に一致した変動を示す。 																																																																																																																																																			
<p>1) 地下水位観測孔の新たな観測結果</p> <p>(1) 地下水位変動</p> <p>図 1-2-1 に示した位置で観測した自記水位計観測結果を表 1-2-1 に示す。平成 17 年 11 月～平成 18 年 2 月の観測は降雨の少ない時期であり、平成 18 年 3 月～平成 18 年 9 月は多雨期のデータを含んでいる。観測期間を通じた水位変動は OT05-1 孔が最も大きい（変動幅 2.35m）が、本孔は貯水面近傍であり、水位は図 1-2-1 に示した貯水位変動と一致する。OT05-1 孔以外の観測孔の変動幅は 0.79m 未満であり、水位変動幅は小さい。</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-1 地下水位観測孔の自記水位観測結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">孔番</th> <th rowspan="2">センサー 深度 GL., -m</th> <th colspan="3">平成17年11月～平成18年2月</th> <th colspan="3">平成18年3月～平成18年9月</th> <th colspan="4">平成17年11月～平成18年9月</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>最高水位 GL., -m</th> <th>最低水位 GL., -m</th> <th>変動幅 m</th> <th>最高水位 GL., -m</th> <th>最低水位 GL., -m</th> <th>変動幅 m</th> <th>最高水位 GL., -m</th> <th>最低水位 GL., -m</th> <th>変動幅 m</th> <th>中間水位 GL., -m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OT05-1</td> <td>49.90</td> <td>21.84</td> <td>23.83</td> <td>1.99</td> <td>21.48</td> <td>23.69</td> <td>2.21</td> <td>21.48</td> <td>23.83</td> <td>2.35</td> <td>22.66</td> <td>サンプリング孔を観測孔に併用</td> </tr> <tr> <td>OT05-2'</td> <td>34.30</td> <td>31.85</td> <td>32.40</td> <td>0.55</td> <td>31.10</td> <td>32.64</td> <td>1.54</td> <td>31.85</td> <td>32.64</td> <td>0.79</td> <td>32.25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>OT05-3'</td> <td>52.50</td> <td>51.97</td> <td>52.31</td> <td>0.34</td> <td>52.07</td> <td>52.5<</td> <td>0.43<</td> <td>51.97</td> <td>52.5<</td> <td>0.53<</td> <td>(52.24<)</td> <td>最低水位はセンサー設置深度以深</td> </tr> <tr> <td>OT05-4'</td> <td>54.00</td> <td>53.28</td> <td>54.00<</td> <td>0.72<</td> <td>53.86</td> <td>54.00<</td> <td>0.14<</td> <td>53.28</td> <td>54.00<</td> <td>0.72<</td> <td>(53.64<)</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>OT05-5'</td> <td>62.00</td> <td>60.42</td> <td>60.50</td> <td>0.08</td> <td>60.41</td> <td>60.52</td> <td>0.11</td> <td>60.41</td> <td>60.52</td> <td>0.11</td> <td>60.47</td> <td></td> </tr> <tr> <td>OT05-7'</td> <td>19.00</td> <td>19.00<</td> <td>19.00<</td> <td>-</td> <td>19.00<</td> <td>19.00<</td> <td>-</td> <td>19.00<</td> <td>19.00<</td> <td>-</td> <td>(19.00<)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 降雨との相関</p> <p>OT05-5'孔と OT05-7'孔は降雨に連動しないが、OT05-2'孔および OT05-4'孔は 2 月 26 日の日雨量 43 mm の降雨に僅かに反応している。</p> <p>2) 新たなボーリングの掘進時の地下水位観測結果</p> <p>新規ボーリング孔は、自記水位計を設置していない。したがって、掘進時の孔内水位観測結果から水位位置を推定した。新規ボーリングは全て、前面すべりブロック内にて掘削されている。表 1-2-2 に観測水位を示す。</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-2 新規ボーリング孔の掘進時孔内水位観測結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">孔番</th> <th rowspan="2">掘進長 GL., -m</th> <th rowspan="2">掘進期間</th> <th colspan="3">一定した水位分布</th> <th rowspan="2">推定水位位置 GL., -m</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>最高水位 GL., -m</th> <th>最低水位 GL., -m</th> <th>変動幅 m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OT06-1</td> <td>33.00</td> <td>平成18年7月19日～8月1日</td> <td>-</td> <td>27.76</td> <td>-</td> <td>13.85</td> <td>水位の上昇・下降が大きく正確な水位を特定できないため、すべり面位置に設定。</td> </tr> <tr> <td>OT06-2</td> <td>45.00</td> <td>平成18年7月22日～8月9日</td> <td>34.70</td> <td>35.05</td> <td>0.35</td> <td>21.00</td> <td>掘進毎に変化。よって、確実な地下水位が考えられるすべり面位置に推定</td> </tr> <tr> <td>OT06-3</td> <td>39.00</td> <td>平成18年7月12日～7月28日</td> <td>29.10</td> <td>29.50</td> <td>0.40</td> <td>29.50</td> <td>すべり面上部で一定する水位分布から設定</td> </tr> <tr> <td>OT06-4</td> <td>45.00</td> <td>平成18年7月22日～8月9日</td> <td>-</td> <td>17.90</td> <td>-</td> <td>17.90</td> <td>すべり面上部の孔内水位を設定</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 地下水位面の分布</p> <p>地すべりブロックの地下水位について、自記水位計記録の水位変動から頻度の高い一定した水位、および新規ボーリング孔掘進時の孔内水位観測結果を解析断面図に反映し、図 1-2-2 に示す。なお、前面すべり内の地下水位は、すべり面の上位に分布する。</p>				孔番	センサー 深度 GL., -m	平成17年11月～平成18年2月			平成18年3月～平成18年9月			平成17年11月～平成18年9月				備 考	最高水位 GL., -m	最低水位 GL., -m	変動幅 m	最高水位 GL., -m	最低水位 GL., -m	変動幅 m	最高水位 GL., -m	最低水位 GL., -m	変動幅 m	中間水位 GL., -m	OT05-1	49.90	21.84	23.83	1.99	21.48	23.69	2.21	21.48	23.83	2.35	22.66	サンプリング孔を観測孔に併用	OT05-2'	34.30	31.85	32.40	0.55	31.10	32.64	1.54	31.85	32.64	0.79	32.25		OT05-3'	52.50	51.97	52.31	0.34	52.07	52.5<	0.43<	51.97	52.5<	0.53<	(52.24<)	最低水位はセンサー設置深度以深	OT05-4'	54.00	53.28	54.00<	0.72<	53.86	54.00<	0.14<	53.28	54.00<	0.72<	(53.64<)	#	OT05-5'	62.00	60.42	60.50	0.08	60.41	60.52	0.11	60.41	60.52	0.11	60.47		OT05-7'	19.00	19.00<	19.00<	-	19.00<	19.00<	-	19.00<	19.00<	-	(19.00<)		孔番	掘進長 GL., -m	掘進期間	一定した水位分布			推定水位位置 GL., -m	備 考	最高水位 GL., -m	最低水位 GL., -m	変動幅 m	OT06-1	33.00	平成18年7月19日～8月1日	-	27.76	-	13.85	水位の上昇・下降が大きく正確な水位を特定できないため、すべり面位置に設定。	OT06-2	45.00	平成18年7月22日～8月9日	34.70	35.05	0.35	21.00	掘進毎に変化。よって、確実な地下水位が考えられるすべり面位置に推定	OT06-3	39.00	平成18年7月12日～7月28日	29.10	29.50	0.40	29.50	すべり面上部で一定する水位分布から設定	OT06-4	45.00	平成18年7月22日～8月9日	-	17.90	-	17.90	すべり面上部の孔内水位を設定	
孔番	センサー 深度 GL., -m	平成17年11月～平成18年2月				平成18年3月～平成18年9月			平成17年11月～平成18年9月				備 考																																																																																																																																							
		最高水位 GL., -m	最低水位 GL., -m	変動幅 m	最高水位 GL., -m	最低水位 GL., -m	変動幅 m	最高水位 GL., -m	最低水位 GL., -m	変動幅 m	中間水位 GL., -m																																																																																																																																									
OT05-1	49.90	21.84	23.83	1.99	21.48	23.69	2.21	21.48	23.83	2.35	22.66	サンプリング孔を観測孔に併用																																																																																																																																								
OT05-2'	34.30	31.85	32.40	0.55	31.10	32.64	1.54	31.85	32.64	0.79	32.25																																																																																																																																									
OT05-3'	52.50	51.97	52.31	0.34	52.07	52.5<	0.43<	51.97	52.5<	0.53<	(52.24<)	最低水位はセンサー設置深度以深																																																																																																																																								
OT05-4'	54.00	53.28	54.00<	0.72<	53.86	54.00<	0.14<	53.28	54.00<	0.72<	(53.64<)	#																																																																																																																																								
OT05-5'	62.00	60.42	60.50	0.08	60.41	60.52	0.11	60.41	60.52	0.11	60.47																																																																																																																																									
OT05-7'	19.00	19.00<	19.00<	-	19.00<	19.00<	-	19.00<	19.00<	-	(19.00<)																																																																																																																																									
孔番	掘進長 GL., -m	掘進期間	一定した水位分布			推定水位位置 GL., -m	備 考																																																																																																																																													
			最高水位 GL., -m	最低水位 GL., -m	変動幅 m																																																																																																																																															
OT06-1	33.00	平成18年7月19日～8月1日	-	27.76	-	13.85	水位の上昇・下降が大きく正確な水位を特定できないため、すべり面位置に設定。																																																																																																																																													
OT06-2	45.00	平成18年7月22日～8月9日	34.70	35.05	0.35	21.00	掘進毎に変化。よって、確実な地下水位が考えられるすべり面位置に推定																																																																																																																																													
OT06-3	39.00	平成18年7月12日～7月28日	29.10	29.50	0.40	29.50	すべり面上部で一定する水位分布から設定																																																																																																																																													
OT06-4	45.00	平成18年7月22日～8月9日	-	17.90	-	17.90	すべり面上部の孔内水位を設定																																																																																																																																													

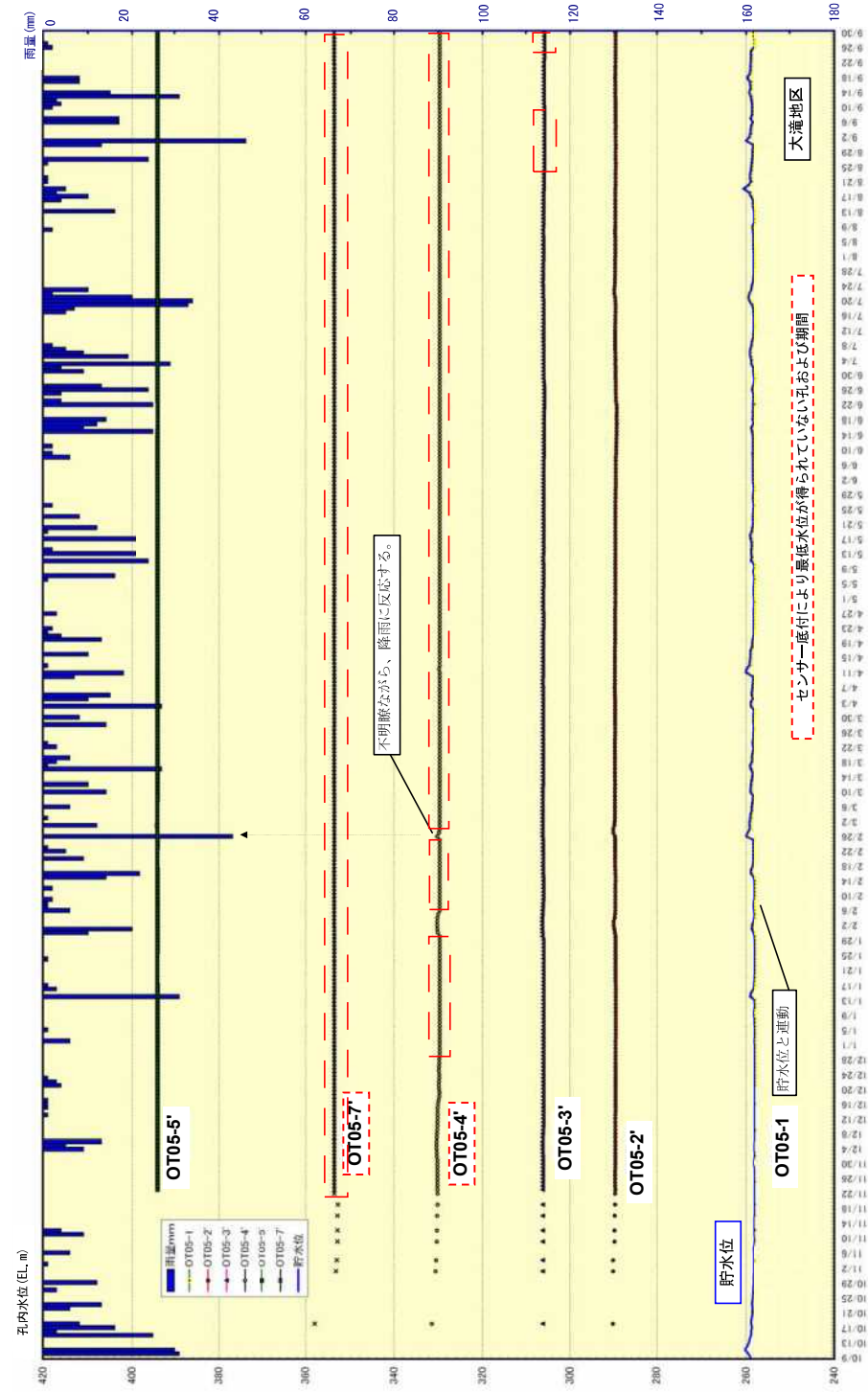
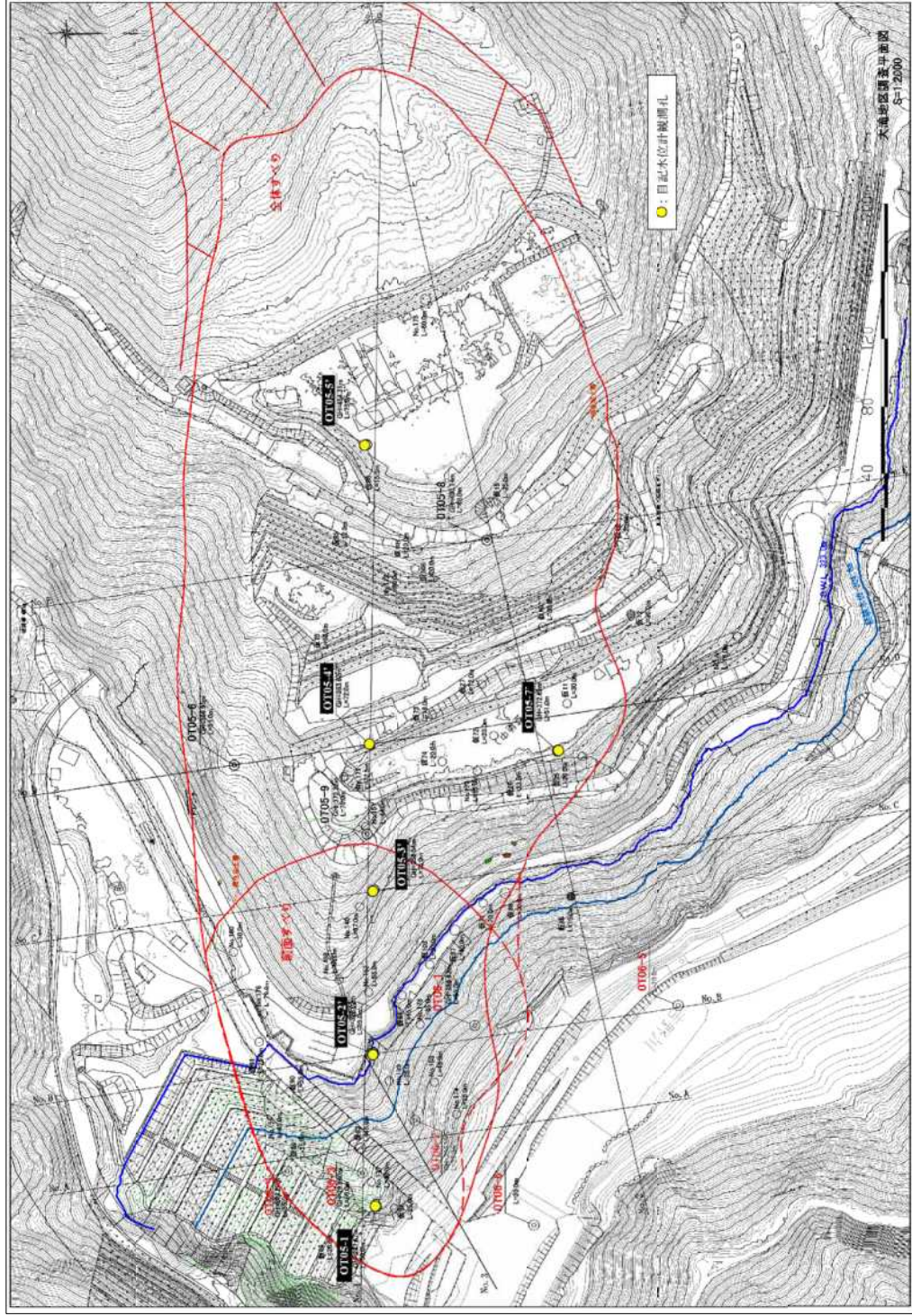


図 1-2-1 大滝地区 水位観測孔位置図および孔内水位変動図

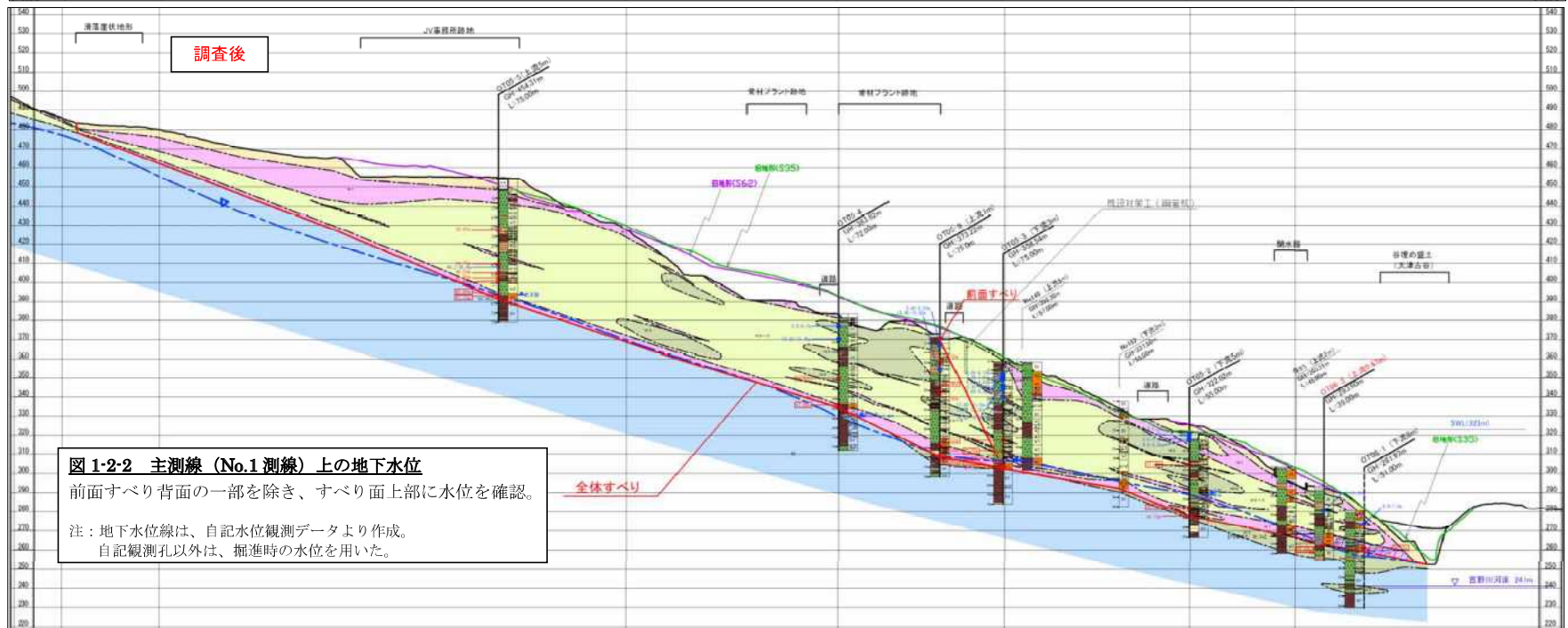
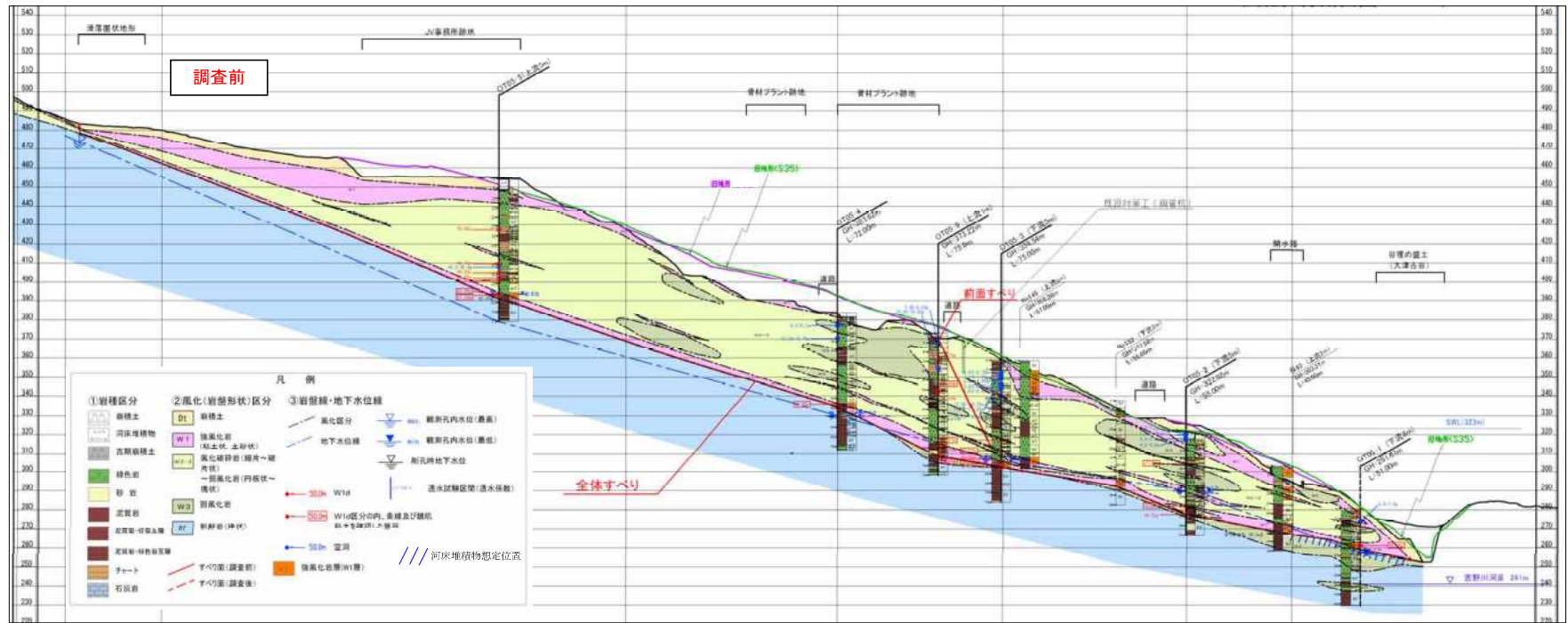
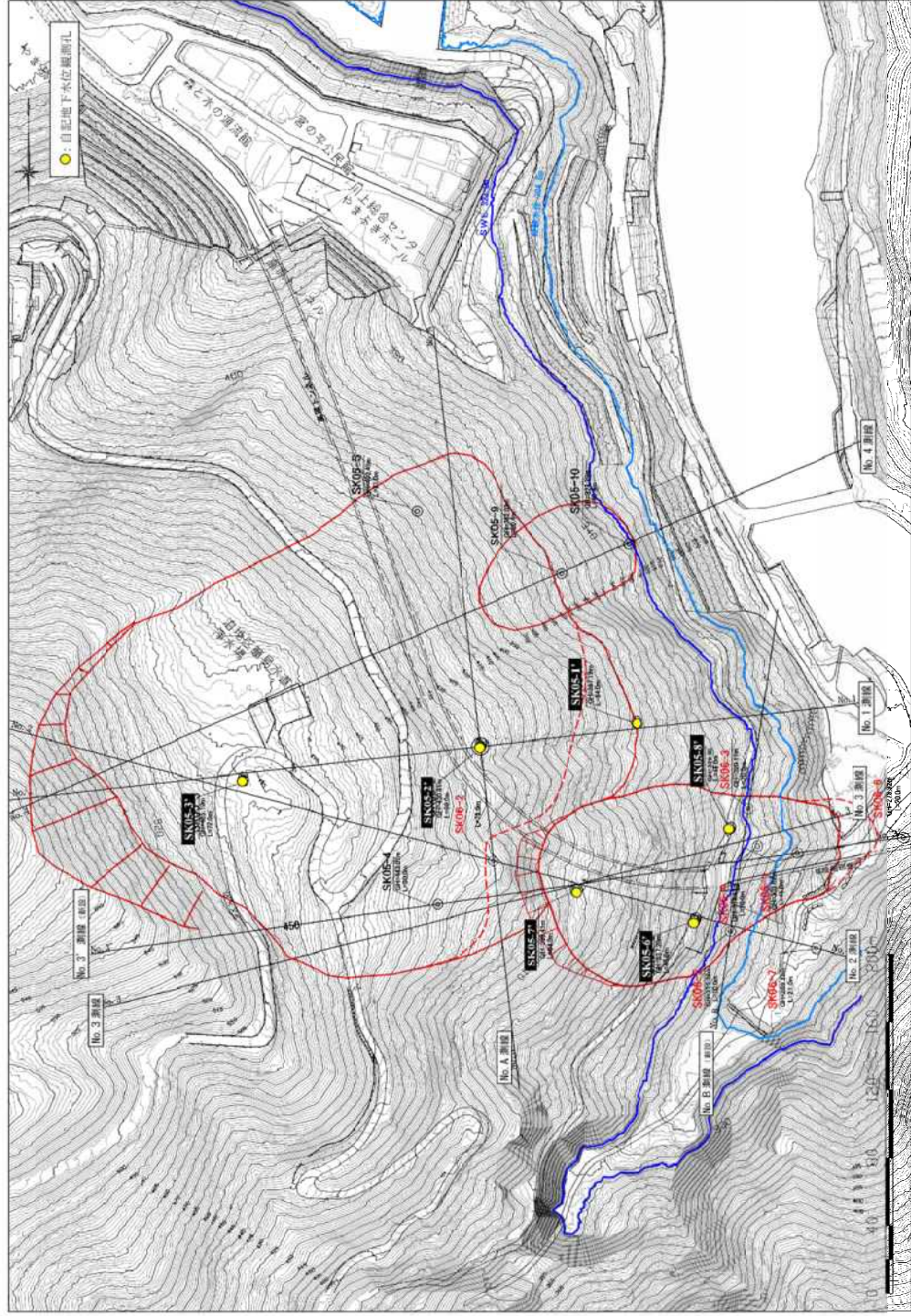


図 1-2-2 主測線 (No.1 測線) 上の地下水位
 前面すべり背面の一部を除き、すべり面上部に水位を確認。
 注：地下水位線は、自記水位観測データより作成。
 自記観測孔以外は、掘進時の水位を用いた。

1. 新たなデータによる地すべり機構の検証

事 項	要 点	備 考																																																																																																																																																																					
1-2-2 迫地区	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 地下水位は、すべり面の下位に分布する。 </div> <p>1) 地下水位観測孔の新たな観測結果</p> <p>(1) 地下水位変動</p> <p>図 1-2-3 に示した位置で観測した自記水位計観測結果を、表 1-2-3 に示す。平成 17 年 11 月～平成 18 年 2 月の観測は降雨の少ない時期であり、平成 18 年 3 月～平成 18 年 9 月は多雨期のデータを含んでいる。観測期間を通した水位は、SK05-6' 孔、SK05-8' 孔が多雨期と年間の変動幅がほとんど同じで 0.5m 程度を示す。年間変動幅は SK05-2' 孔と SK05-3' 孔が 2.84m 以上を示し、やや大きい。</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-3 地下水位観測孔の自記水位観測結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">孔番</th> <th rowspan="3">センサー 深度 GL. -m</th> <th colspan="3">平成17年11月～平成18年2月</th> <th colspan="3">平成18年3月～平成18年9月</th> <th colspan="4">平成17年11月～平成18年9月</th> <th rowspan="3">備 考</th> </tr> <tr> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>中間水位</th> </tr> <tr> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SK05-1'</td> <td>59.00</td> <td>59.00<</td> <td>59.00<</td> <td>—</td> <td>59.00<</td> <td>59.00<</td> <td>—</td> <td>59.00<</td> <td>59.00<</td> <td>—</td> <td>59.00</td> <td>自記観測水位は全てセンサー設置深度以深</td> </tr> <tr> <td>SK05-2'</td> <td>51.00</td> <td>48.16</td> <td>51.00<</td> <td>2.84<</td> <td>48.17</td> <td>51.00<</td> <td>2.83<</td> <td>48.16</td> <td>51.00<</td> <td>2.84<</td> <td>(49.58<)</td> <td>最低水位はセンサー設置深度以深</td> </tr> <tr> <td>SK05-3'</td> <td>57.60</td> <td>55.98</td> <td>57.60<</td> <td>1.62<</td> <td>54.76</td> <td>57.60<</td> <td>2.84<</td> <td>54.76</td> <td>57.60<</td> <td>2.84<</td> <td>(56.18<)</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>SK05-6'</td> <td>13.80</td> <td>13.10</td> <td>13.61</td> <td>0.51</td> <td>13.08</td> <td>13.59</td> <td>0.51</td> <td>13.08</td> <td>13.61</td> <td>0.53</td> <td>13.35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SK05-7'</td> <td>39.00</td> <td>39.00<</td> <td>39.00<</td> <td>—</td> <td>39.00<</td> <td>39.00<</td> <td>—</td> <td>39.00<</td> <td>39.00<</td> <td>—</td> <td>(39.00<)</td> <td>自記観測水位は全てセンサー設置深度以深</td> </tr> <tr> <td>SK05-8'</td> <td>32.00</td> <td>31.34</td> <td>31.34</td> <td>0.00</td> <td>31.31</td> <td>31.87</td> <td>0.56</td> <td>31.31</td> <td>31.87</td> <td>0.56</td> <td>31.59</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 降雨との相関</p> <p>図 1-2-3 に孔内水位変動と雨量との関係図を示す。</p> <p>SK05-3'孔は平成 18 年 2 月 26 日の日雨量 43mm 時、および平成 18 年 7 月 19～20 日の日雨量 30mm 以上の連続降雨に明瞭な連動を示す。SK05-6'孔は雨量との連動は見られるが、連動幅は小さい。</p> <p>2) 新たなボーリングの掘進時の地下水位観測結果</p> <p>新規ボーリング孔は、自記水位記録を取得していない。したがって、掘進時の孔内水位観測結果から水位位置を推定した。高原川対岸にて実施された孔を除く、新規ボーリング地点の水位を表 1-2-4 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-4 新規ボーリング孔の掘進時孔内水位観測結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">孔番</th> <th rowspan="3">掘進長 GL. -m</th> <th rowspan="3">掘進期間</th> <th colspan="3">一定した水位分布</th> <th rowspan="3">推定水位位置 GL. -m</th> <th rowspan="3">備 考</th> </tr> <tr> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> </tr> <tr> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SK06-1</td> <td>55.00</td> <td>平成18年8月1日～8月21日</td> <td>36.80</td> <td>36.90</td> <td>0.10</td> <td>36.90</td> <td>孔内水位はすべり面下位より出現。一定する水位分布から推定</td> </tr> <tr> <td>SK06-2</td> <td>85.00</td> <td>平成18年8月4日～8月26日</td> <td>78.00</td> <td>78.90</td> <td>0.90</td> <td>78.90</td> <td>一定する水位分布から推定</td> </tr> <tr> <td>SK06-3</td> <td>50.00</td> <td>平成18年7月12日～7月24日</td> <td>37.60</td> <td>38.30</td> <td>0.70</td> <td>38.30</td> <td>孔内水位はすべり面下位より出現。一定する水位分布から推定</td> </tr> <tr> <td>SK06-4</td> <td>48.00</td> <td>平成18年7月12日～7月26日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>48.00<</td> <td>すべり面上部も含め水位の出現なし</td> </tr> <tr> <td>SK06-5</td> <td>69.00</td> <td>平成18年7月13日～7月24日</td> <td>24.10</td> <td>24.85</td> <td>0.75</td> <td>24.85</td> <td>石灰岩の影響を受けない区間で一定する水位分布から設定</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 地下水位面の分布</p> <p>地すべりブロックの地下水位について、自記水位計記録の水位変動から頻度が高い一定した水位、および新規ボーリング孔掘進時の孔内水位観測結果を解析断面図に反映し、図 1-2-4 に示す。迫地区の地下水位は、すべり面下部に分布し、ほぼ新鮮岩の上位に相当する。</p>	孔番	センサー 深度 GL. -m	平成17年11月～平成18年2月			平成18年3月～平成18年9月			平成17年11月～平成18年9月				備 考	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	中間水位	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	SK05-1'	59.00	59.00<	59.00<	—	59.00<	59.00<	—	59.00<	59.00<	—	59.00	自記観測水位は全てセンサー設置深度以深	SK05-2'	51.00	48.16	51.00<	2.84<	48.17	51.00<	2.83<	48.16	51.00<	2.84<	(49.58<)	最低水位はセンサー設置深度以深	SK05-3'	57.60	55.98	57.60<	1.62<	54.76	57.60<	2.84<	54.76	57.60<	2.84<	(56.18<)	#	SK05-6'	13.80	13.10	13.61	0.51	13.08	13.59	0.51	13.08	13.61	0.53	13.35		SK05-7'	39.00	39.00<	39.00<	—	39.00<	39.00<	—	39.00<	39.00<	—	(39.00<)	自記観測水位は全てセンサー設置深度以深	SK05-8'	32.00	31.34	31.34	0.00	31.31	31.87	0.56	31.31	31.87	0.56	31.59		孔番	掘進長 GL. -m	掘進期間	一定した水位分布			推定水位位置 GL. -m	備 考	最高水位	最低水位	変動幅	GL. -m	GL. -m	m	SK06-1	55.00	平成18年8月1日～8月21日	36.80	36.90	0.10	36.90	孔内水位はすべり面下位より出現。一定する水位分布から推定	SK06-2	85.00	平成18年8月4日～8月26日	78.00	78.90	0.90	78.90	一定する水位分布から推定	SK06-3	50.00	平成18年7月12日～7月24日	37.60	38.30	0.70	38.30	孔内水位はすべり面下位より出現。一定する水位分布から推定	SK06-4	48.00	平成18年7月12日～7月26日	—	—	—	48.00<	すべり面上部も含め水位の出現なし	SK06-5	69.00	平成18年7月13日～7月24日	24.10	24.85	0.75	24.85	石灰岩の影響を受けない区間で一定する水位分布から設定	
孔番	センサー 深度 GL. -m			平成17年11月～平成18年2月			平成18年3月～平成18年9月			平成17年11月～平成18年9月					備 考																																																																																																																																																								
				最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	中間水位																																																																																																																																																										
		GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m																																																																																																																																																												
SK05-1'	59.00	59.00<	59.00<	—	59.00<	59.00<	—	59.00<	59.00<	—	59.00	自記観測水位は全てセンサー設置深度以深																																																																																																																																																											
SK05-2'	51.00	48.16	51.00<	2.84<	48.17	51.00<	2.83<	48.16	51.00<	2.84<	(49.58<)	最低水位はセンサー設置深度以深																																																																																																																																																											
SK05-3'	57.60	55.98	57.60<	1.62<	54.76	57.60<	2.84<	54.76	57.60<	2.84<	(56.18<)	#																																																																																																																																																											
SK05-6'	13.80	13.10	13.61	0.51	13.08	13.59	0.51	13.08	13.61	0.53	13.35																																																																																																																																																												
SK05-7'	39.00	39.00<	39.00<	—	39.00<	39.00<	—	39.00<	39.00<	—	(39.00<)	自記観測水位は全てセンサー設置深度以深																																																																																																																																																											
SK05-8'	32.00	31.34	31.34	0.00	31.31	31.87	0.56	31.31	31.87	0.56	31.59																																																																																																																																																												
孔番	掘進長 GL. -m	掘進期間	一定した水位分布			推定水位位置 GL. -m	備 考																																																																																																																																																																
			最高水位	最低水位	変動幅																																																																																																																																																																		
			GL. -m	GL. -m	m																																																																																																																																																																		
SK06-1	55.00	平成18年8月1日～8月21日	36.80	36.90	0.10	36.90	孔内水位はすべり面下位より出現。一定する水位分布から推定																																																																																																																																																																
SK06-2	85.00	平成18年8月4日～8月26日	78.00	78.90	0.90	78.90	一定する水位分布から推定																																																																																																																																																																
SK06-3	50.00	平成18年7月12日～7月24日	37.60	38.30	0.70	38.30	孔内水位はすべり面下位より出現。一定する水位分布から推定																																																																																																																																																																
SK06-4	48.00	平成18年7月12日～7月26日	—	—	—	48.00<	すべり面上部も含め水位の出現なし																																																																																																																																																																
SK06-5	69.00	平成18年7月13日～7月24日	24.10	24.85	0.75	24.85	石灰岩の影響を受けない区間で一定する水位分布から設定																																																																																																																																																																



孔内水位 (0L - m)

1-2-6

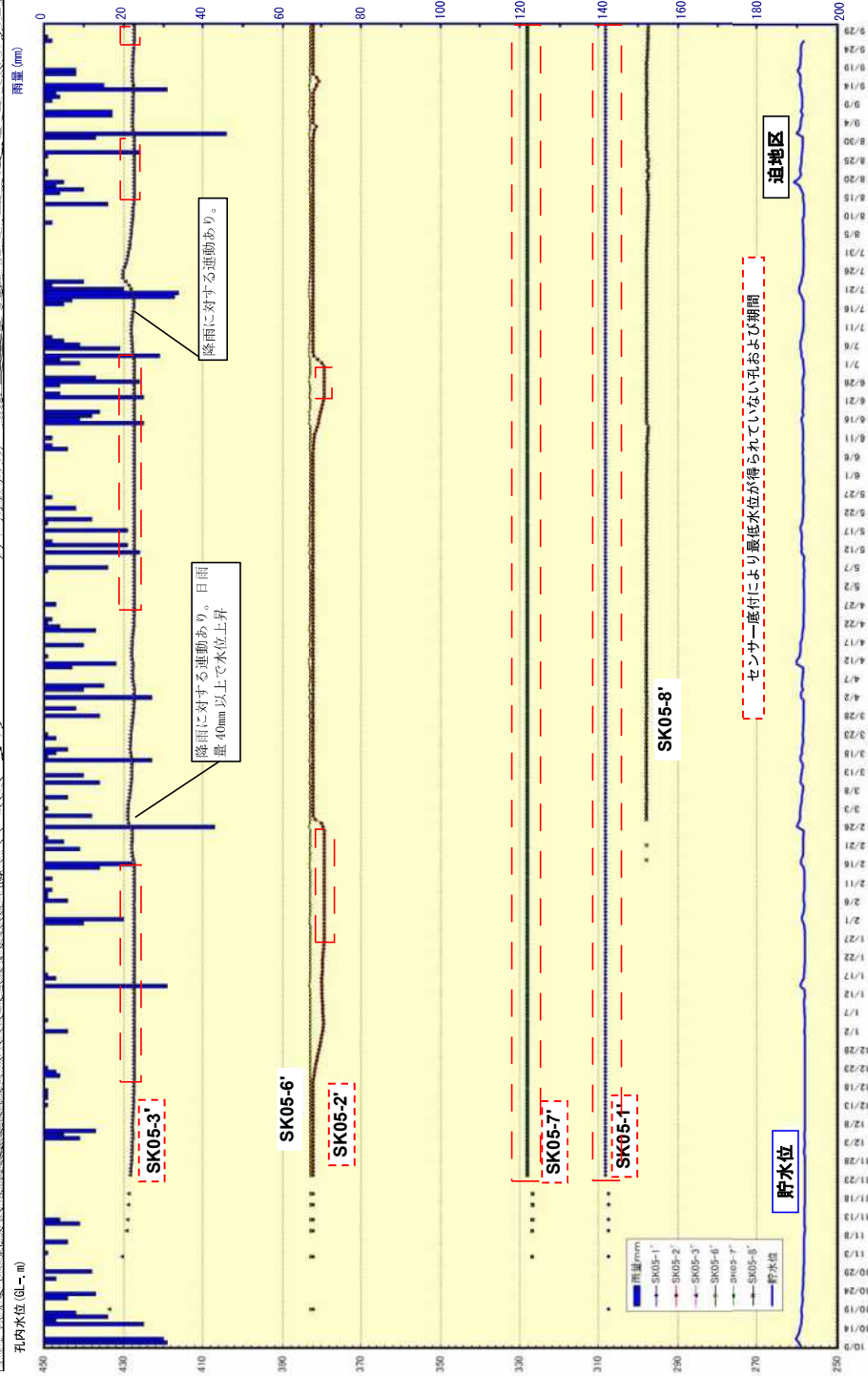


図 1-2-3 追地区 水位観測孔位置図および孔内水位変動図

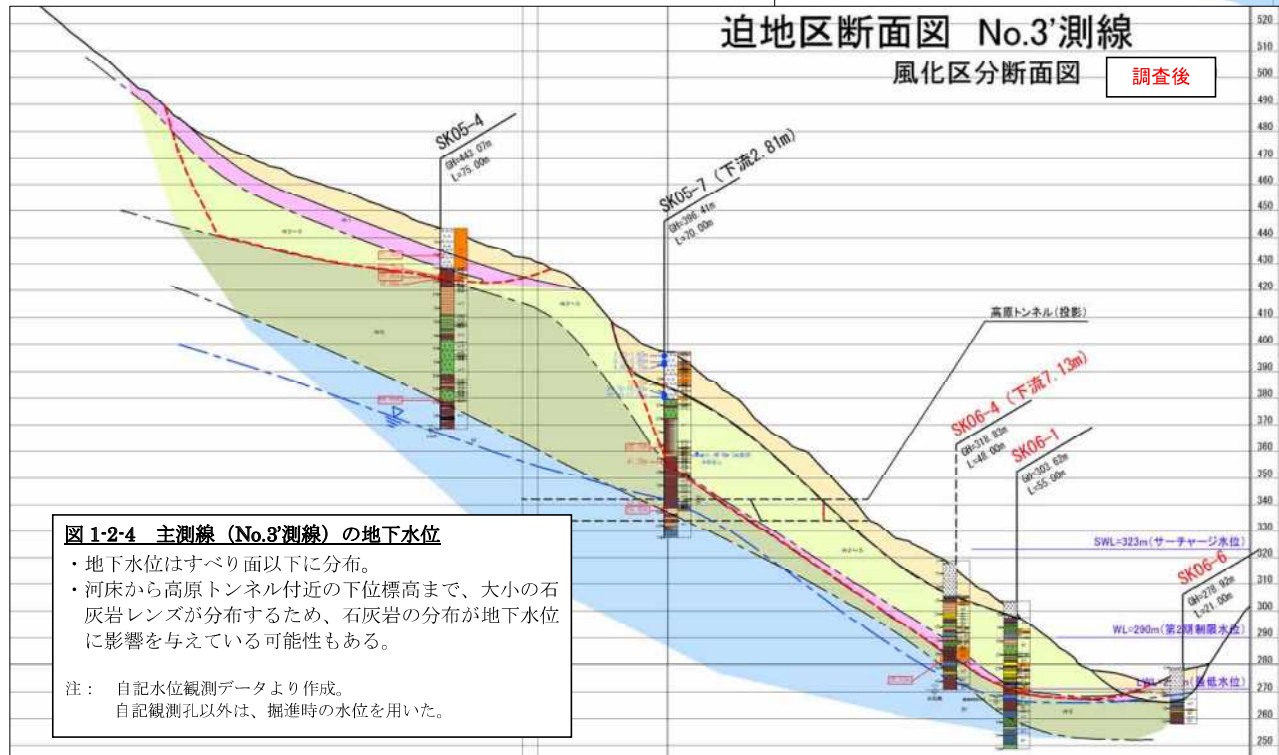
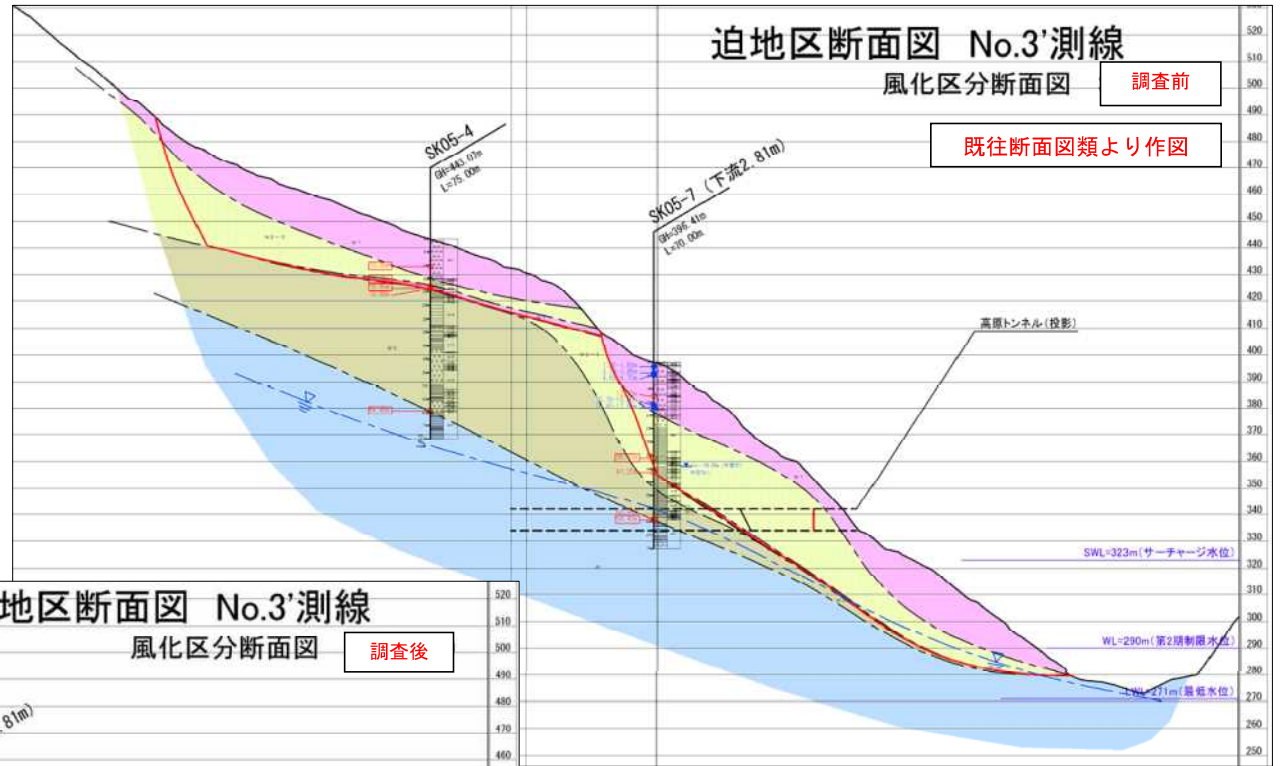


図 1-2-4 主測線 (No.3'測線) の地下水位

- 地下水位はすべり面以下に分布。
- 河床から高原トンネル付近の下位標高まで、大小の石灰岩レンズが分布するため、石灰岩の分布が地下水位に影響を与えている可能性もある。

注： 自記水位観測データより作成。
自記観測孔以外は、掘進時の水位を用いた。

凡例

① 岩種区分 扇積土 河床堆積物 古扇扇積土 緑色岩 砂岩 石灰岩 石灰岩・シルト岩互層 砂岩・シルト岩互層 チャート 石灰岩	② 風化(岩盤形状)区分 Dt 扇積土 W1 強風化岩 (粘土状、土砂状) W2-2 風化破砕岩 (細片~破片状) W2-3 弱風化岩 (円板状~塊状) W3 弱風化岩 Rf 新鮮岩 (棒状)	③ 岩盤線・地下水位線 風化区分 地下水位線 max 観測孔内水位(最高) min 観測孔内水位(最低) 削孔時地下水位 50.0m Wid 50.0m Wid区分の内、条線及び鏡眼粘土を確認した箇所 50.0m 空洞 強風化岩層(W1層)
------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 新たなデータによる地すべり機構の検証

事 項	要 点	備 考																																																																																																																	
1-2-3 白屋上流地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下水位は、すべり面の上位に分布する。 ・ 地すべりブロック内の観測孔は、降雨に対し長周期的な変動を示す。 <p>1) 地下水位観測孔の新たな観測結果</p> <p>(1) 地下水位変動</p> <p>図 1-2-5 に示した位置で観測した自記水位計観測結果を表 1-2-5 に示す。平成 17 年 11 月～平成 18 年 2 月の観測は降雨の少ない時期であり、平成 18 年 3 月～平成 18 年 9 月は多雨期のデータを含んでいる。水位は、いずれも降雨の少ない時期より多雨期において、変動幅が大きい。地すべりブロック内に位置する SY05-2' 孔の観測期間を通じた変動量は、6.77m である。</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-5 地下水位観測孔の自記水位観測結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">孔番</th> <th rowspan="2">センサー 深度</th> <th colspan="3">平成17年11月～平成18年2月</th> <th colspan="3">平成18年3月～平成18年9月</th> <th colspan="4">平成17年11月～平成18年9月</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>中間水位</th> </tr> <tr> <th></th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SY05-1'</td> <td>41.00</td> <td>38.35</td> <td>39.06</td> <td>0.71</td> <td>34.82</td> <td>39.17</td> <td>4.35</td> <td>34.82</td> <td>39.17</td> <td>4.35</td> <td>37.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SY05-2'</td> <td>62.00</td> <td>48.36</td> <td>53.19</td> <td>4.83</td> <td>46.42</td> <td>52.42</td> <td>6.00</td> <td>46.42</td> <td>53.19</td> <td>6.77</td> <td>49.81</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 降雨との相関</p> <p>SY05-2'孔は平成 18 年 2 月末まで緩慢な水位降下を示すが、その後、降雨量が多くなるに伴い水位が上昇し、周期的な変動履歴を示す。SK05-1'孔は日雨量 20mm 程度以上の降雨が集中した場合に連動した水位上昇を示すが、水位降下も早い。</p> <p>2) 新たなボーリングの掘進時の地下水位観測結果</p> <p>新規ボーリング位置は、地すべりブロックの下流側である。新規ボーリング孔では、自記水位記録を取得していない。したがって、掘進時の孔内水位観測結果から水位位置を推定した。新規ボーリング地点の水位を、表 1-2-6 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-6 新規ボーリング孔の掘進時孔内水位観測結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">孔番</th> <th rowspan="2">掘進長</th> <th rowspan="2">掘進期間</th> <th colspan="3">一定した水位分布</th> <th rowspan="2">推定水位位置</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> </tr> <tr> <th></th> <th>GL. -m</th> <th></th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SY06-1</td> <td>54.00</td> <td>平成18年7月11日～7月28日</td> <td>36.95</td> <td>37.80</td> <td>0.85</td> <td>37.80</td> <td>水位分布が一定する範囲の水位分布から推定</td> </tr> <tr> <td>SY06-2</td> <td>84.00</td> <td>平成18年7月11日～8月27日</td> <td>64.10</td> <td>65.05</td> <td>0.95</td> <td>65.05</td> <td>掘進毎に孔内水位が低下するため、一定する傾向が見られる水位分布の最低水位を推定</td> </tr> <tr> <td>SY06-3</td> <td>54.00</td> <td>平成18年8月10日～8月22日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>34.95</td> <td>掘進中の水位変動が大きいため、掘進時の最低水位を推定</td> </tr> <tr> <td>SY06-4</td> <td>72.00</td> <td>平成18年8月5日～8月28日</td> <td>49.40</td> <td>49.95</td> <td>0.55</td> <td>49.95</td> <td>水位分布が一定する範囲の水位分布から推定</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 地下水位面の分布</p> <p>地下水位について、自記水位計記録の水位を解析断面図に反映し、図 1-2-6 に示す。地すべりブロック内では、すべり面の上位に地下水位が分布することを確認した。</p>	孔番	センサー 深度	平成17年11月～平成18年2月			平成18年3月～平成18年9月			平成17年11月～平成18年9月				備 考	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	中間水位		GL. -m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m		SY05-1'	41.00	38.35	39.06	0.71	34.82	39.17	4.35	34.82	39.17	4.35	37.00		SY05-2'	62.00	48.36	53.19	4.83	46.42	52.42	6.00	46.42	53.19	6.77	49.81		孔番	掘進長	掘進期間	一定した水位分布			推定水位位置	備 考	最高水位	最低水位	変動幅		GL. -m		GL. -m	GL. -m	m	GL. -m		SY06-1	54.00	平成18年7月11日～7月28日	36.95	37.80	0.85	37.80	水位分布が一定する範囲の水位分布から推定	SY06-2	84.00	平成18年7月11日～8月27日	64.10	65.05	0.95	65.05	掘進毎に孔内水位が低下するため、一定する傾向が見られる水位分布の最低水位を推定	SY06-3	54.00	平成18年8月10日～8月22日	—	—	—	34.95	掘進中の水位変動が大きいため、掘進時の最低水位を推定	SY06-4	72.00	平成18年8月5日～8月28日	49.40	49.95	0.55	49.95	水位分布が一定する範囲の水位分布から推定	
孔番	センサー 深度			平成17年11月～平成18年2月			平成18年3月～平成18年9月			平成17年11月～平成18年9月					備 考																																																																																																				
		最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	中間水位																																																																																																								
	GL. -m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m																																																																																																								
SY05-1'	41.00	38.35	39.06	0.71	34.82	39.17	4.35	34.82	39.17	4.35	37.00																																																																																																								
SY05-2'	62.00	48.36	53.19	4.83	46.42	52.42	6.00	46.42	53.19	6.77	49.81																																																																																																								
孔番	掘進長	掘進期間	一定した水位分布			推定水位位置	備 考																																																																																																												
			最高水位	最低水位	変動幅																																																																																																														
	GL. -m		GL. -m	GL. -m	m	GL. -m																																																																																																													
SY06-1	54.00	平成18年7月11日～7月28日	36.95	37.80	0.85	37.80	水位分布が一定する範囲の水位分布から推定																																																																																																												
SY06-2	84.00	平成18年7月11日～8月27日	64.10	65.05	0.95	65.05	掘進毎に孔内水位が低下するため、一定する傾向が見られる水位分布の最低水位を推定																																																																																																												
SY06-3	54.00	平成18年8月10日～8月22日	—	—	—	34.95	掘進中の水位変動が大きいため、掘進時の最低水位を推定																																																																																																												
SY06-4	72.00	平成18年8月5日～8月28日	49.40	49.95	0.55	49.95	水位分布が一定する範囲の水位分布から推定																																																																																																												

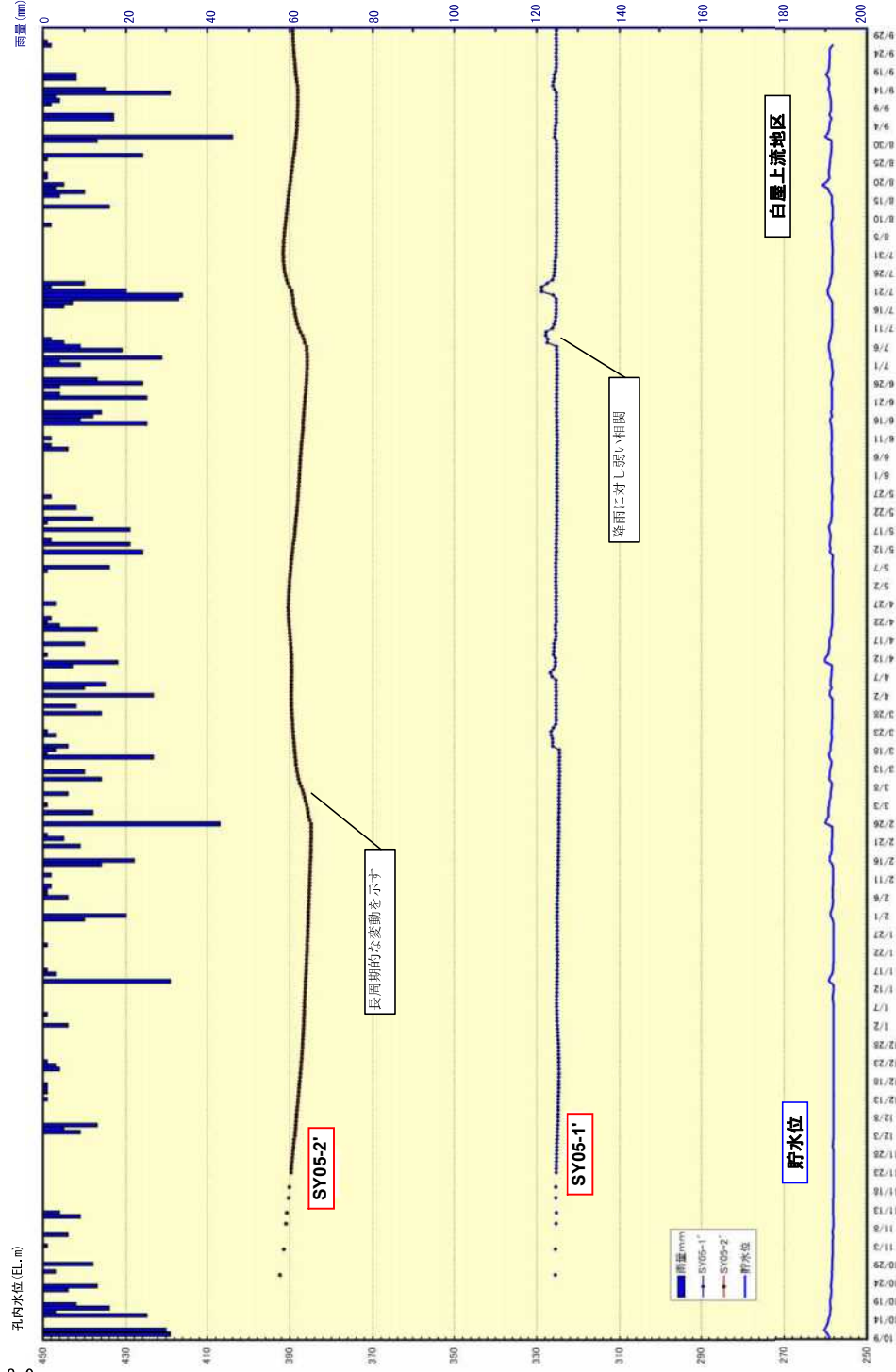
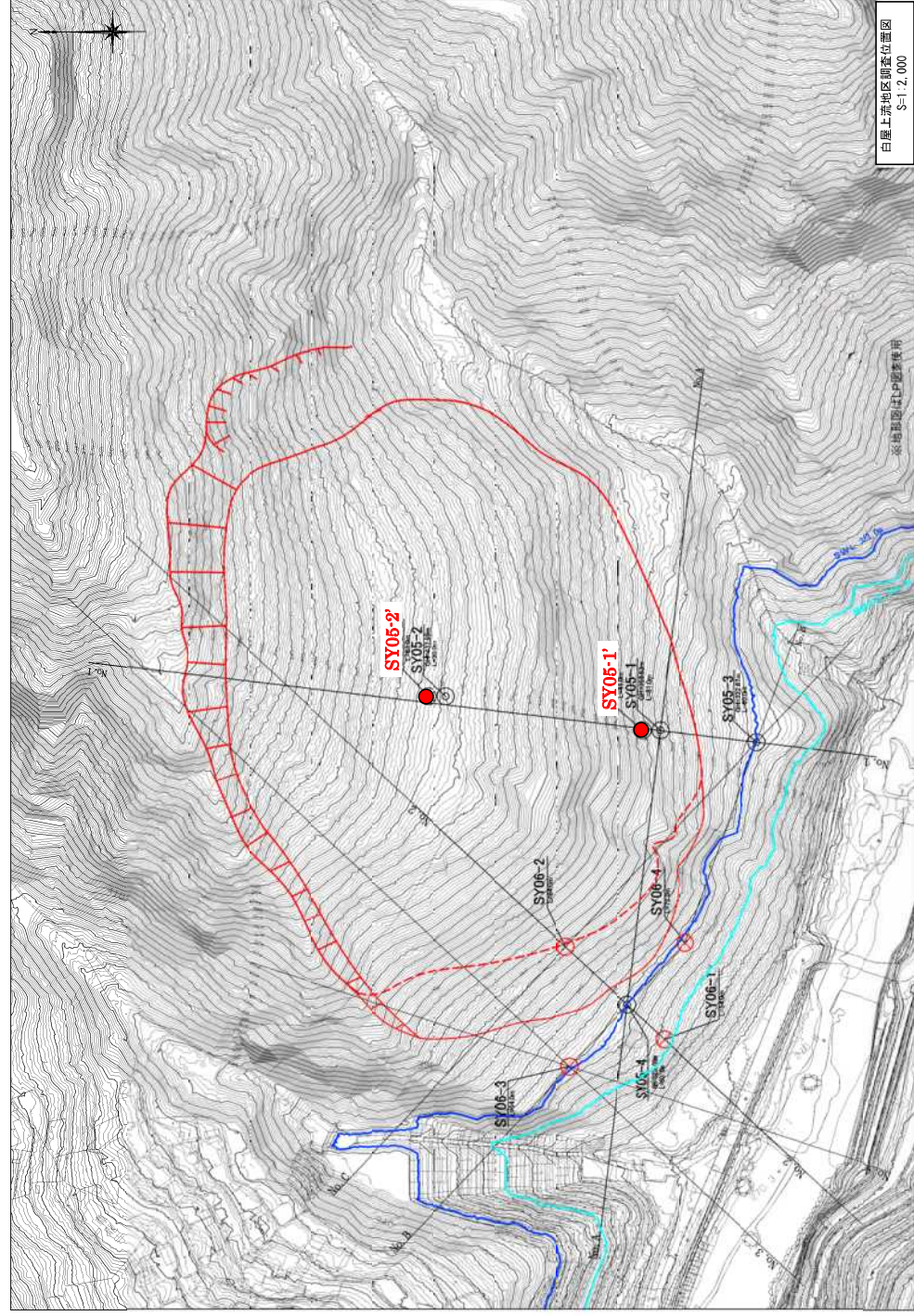
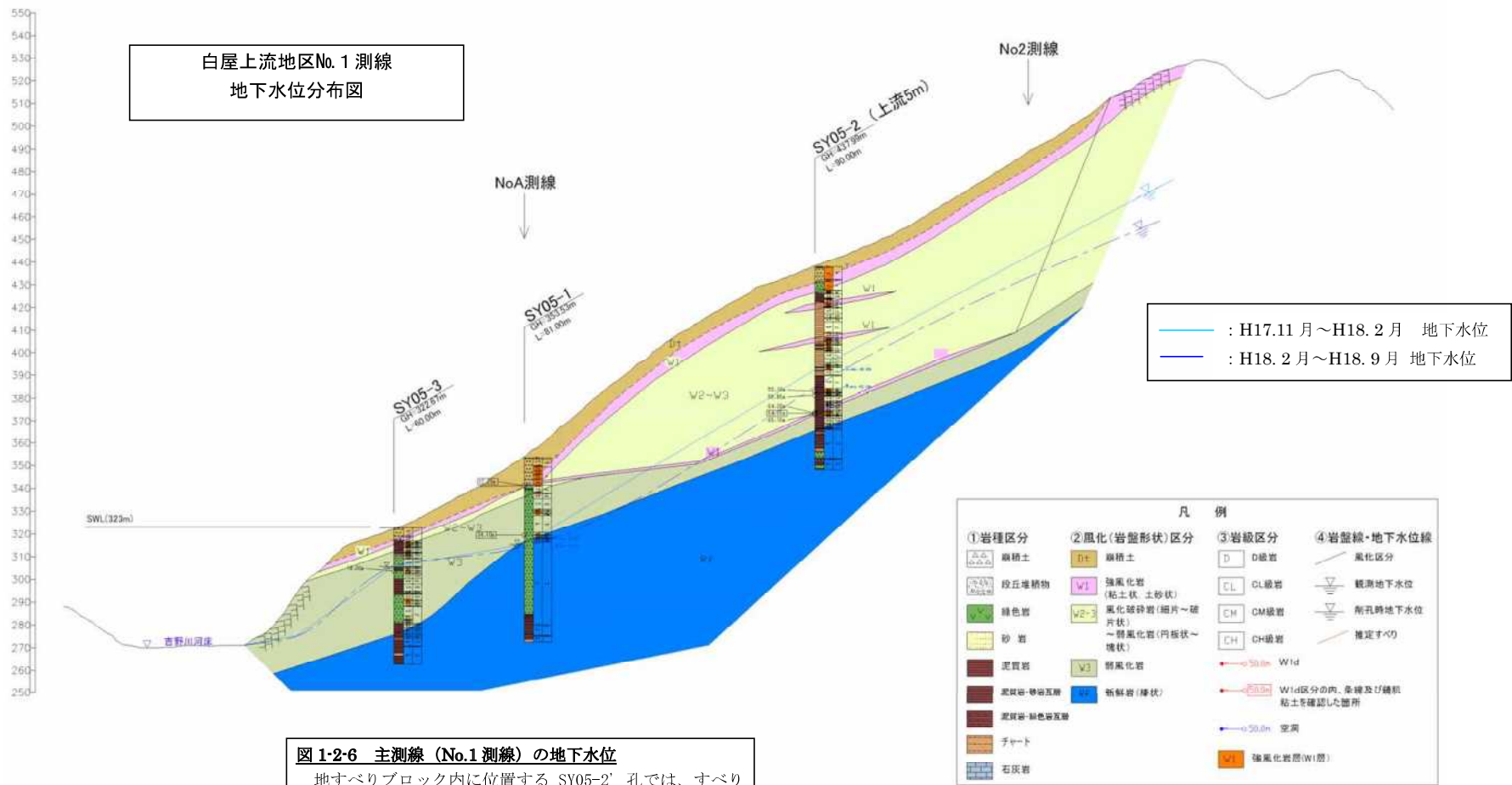


図 1-2-5 白屋上流地区 水位観測孔位置図および孔内水位変動図



白屋上流地区No. 1 測線
地下水位分布図

— : H17.11月～H18.2月 地下水位
— : H18.2月～H18.9月 地下水位

図 1-2-6 主測線 (No.1 測線) の地下水位
地すべりブロック内に位置する SY05-2' 孔では、すべり面の上位に地下水位を確認した。
注： 地下水位線は、自記水位観測データより作成。

凡 例			
①岩種区分	②風化(岩盤形状)区分	③岩級区分	④岩盤線・地下水位線
礫積土	礫積土	D級岩	風化区分
段丘堆積物	強風化岩 (粘土状・土砂状)	CL級岩	観測地下水位
緑色岩	風化砂砕岩(細片～破片状) ～弱風化岩(円板状～塊状)	CM級岩	断孔時地下水位
砂 岩	弱風化岩	CH級岩	推定すべり
泥質岩	新鮮岩(輝状)	W1d	
泥質岩・砂岩互層	新鮮岩(輝状)	W1d区分の内、条線及び縫網 粘土を確認した箇所	
泥質岩・緑色岩互層		50.0m	
チヤート		50.0m	
石灰岩		50.0m	
		W1	

1. 新たなデータによる地すべり機構の検証

事 項	要 点	備 考																																																																																					
1-2-4 寺尾地区	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 地下水位は、すべり面の上位に分布し、末端部ではすべり面の直上付近に位置する。 地すべりブロック内の観測孔 TR05-2' 孔は、降雨に対する連動が明瞭である。 </div> <p>1) 地下水位観測孔の新たな観測結果</p> <p>(1) 地下水位変動</p> <p>自記水位計観測結果を表 1-2-7 に示す。観測期間を通じた水位変動は TR05-3' 孔以外で 1.86～3.74m である。TR05-4' 孔は降雨の多い平成 18 年 3 月～平成 18 年 9 月の変動量が、降雨の少ない平成 17 年 11 月～平成 18 年 2 月の変動量の約 2 倍である。</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-7 地下水位観測孔の自記水位観測結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">孔番</th> <th rowspan="3">センサー 深度 GL. -m</th> <th colspan="3">平成17年11月～平成18年2月</th> <th colspan="3">平成18年3月～平成18年9月</th> <th colspan="4">平成17年11月～平成18年9月</th> <th rowspan="3">備 考</th> </tr> <tr> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>中間水位</th> </tr> <tr> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TR05-1'</td> <td>49.00</td> <td>47.22</td> <td>48.94</td> <td>1.72</td> <td>47.08</td> <td>48.79</td> <td>1.71</td> <td>47.08</td> <td>48.94</td> <td>1.86</td> <td>48.01</td> <td></td> </tr> <tr> <td>TR05-2'</td> <td>61.00</td> <td>57.07</td> <td>60.56</td> <td>3.49</td> <td>56.82</td> <td>60.40</td> <td>3.58</td> <td>56.82</td> <td>60.56</td> <td>3.74</td> <td>58.69</td> <td>観測開始は平成18年2月3日</td> </tr> <tr> <td>TR05-3'</td> <td>45.00</td> <td>45.00<</td> <td>45.00<</td> <td>—</td> <td>44.80</td> <td>45.00<</td> <td>0.20<</td> <td>44.80</td> <td>45.00<</td> <td>0.20<</td> <td>(44.90)</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>TR05-4'</td> <td>54.00</td> <td>50.84</td> <td>52.09</td> <td>1.25</td> <td>49.74</td> <td>51.98</td> <td>2.24</td> <td>49.74</td> <td>52.09</td> <td>2.35</td> <td>50.92</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 降雨との相関</p> <p>TR05-2'孔は観測期間を通し、降雨との連動が明瞭である。TR05-1'孔は降雨量の多い時期に緩やかなカーブで上昇する傾向があるが、観測期間を通じた変動幅は 1.8m 程度である。TR05-4'孔は平成 18 年 2 月 26 日の日雨量 43mm 時、および平成 18 年 7 月 19～20 日の日雨量 30mm 以上の連続降雨に敏感に反応するが、その他の区間での連動は小さい。TR05-3'孔は平成 18 年 7 月 19～20 日の降雨に僅かな連動を示す。</p> <p>2) 地下水位面の分布</p> <p>自記水位記録の水位を解析断面図に反映し、図 1-2-8 に示す。寺尾地区の地下水位は、すべり面の上位に分布し、末端部ではほぼすべり面の直上付近に位置する。</p>	孔番	センサー 深度 GL. -m	平成17年11月～平成18年2月			平成18年3月～平成18年9月			平成17年11月～平成18年9月				備 考	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	中間水位	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	TR05-1'	49.00	47.22	48.94	1.72	47.08	48.79	1.71	47.08	48.94	1.86	48.01		TR05-2'	61.00	57.07	60.56	3.49	56.82	60.40	3.58	56.82	60.56	3.74	58.69	観測開始は平成18年2月3日	TR05-3'	45.00	45.00<	45.00<	—	44.80	45.00<	0.20<	44.80	45.00<	0.20<	(44.90)	"	TR05-4'	54.00	50.84	52.09	1.25	49.74	51.98	2.24	49.74	52.09	2.35	50.92		
孔番	センサー 深度 GL. -m			平成17年11月～平成18年2月			平成18年3月～平成18年9月			平成17年11月～平成18年9月					備 考																																																																								
				最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	中間水位																																																																										
		GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m																																																																												
TR05-1'	49.00	47.22	48.94	1.72	47.08	48.79	1.71	47.08	48.94	1.86	48.01																																																																												
TR05-2'	61.00	57.07	60.56	3.49	56.82	60.40	3.58	56.82	60.56	3.74	58.69	観測開始は平成18年2月3日																																																																											
TR05-3'	45.00	45.00<	45.00<	—	44.80	45.00<	0.20<	44.80	45.00<	0.20<	(44.90)	"																																																																											
TR05-4'	54.00	50.84	52.09	1.25	49.74	51.98	2.24	49.74	52.09	2.35	50.92																																																																												

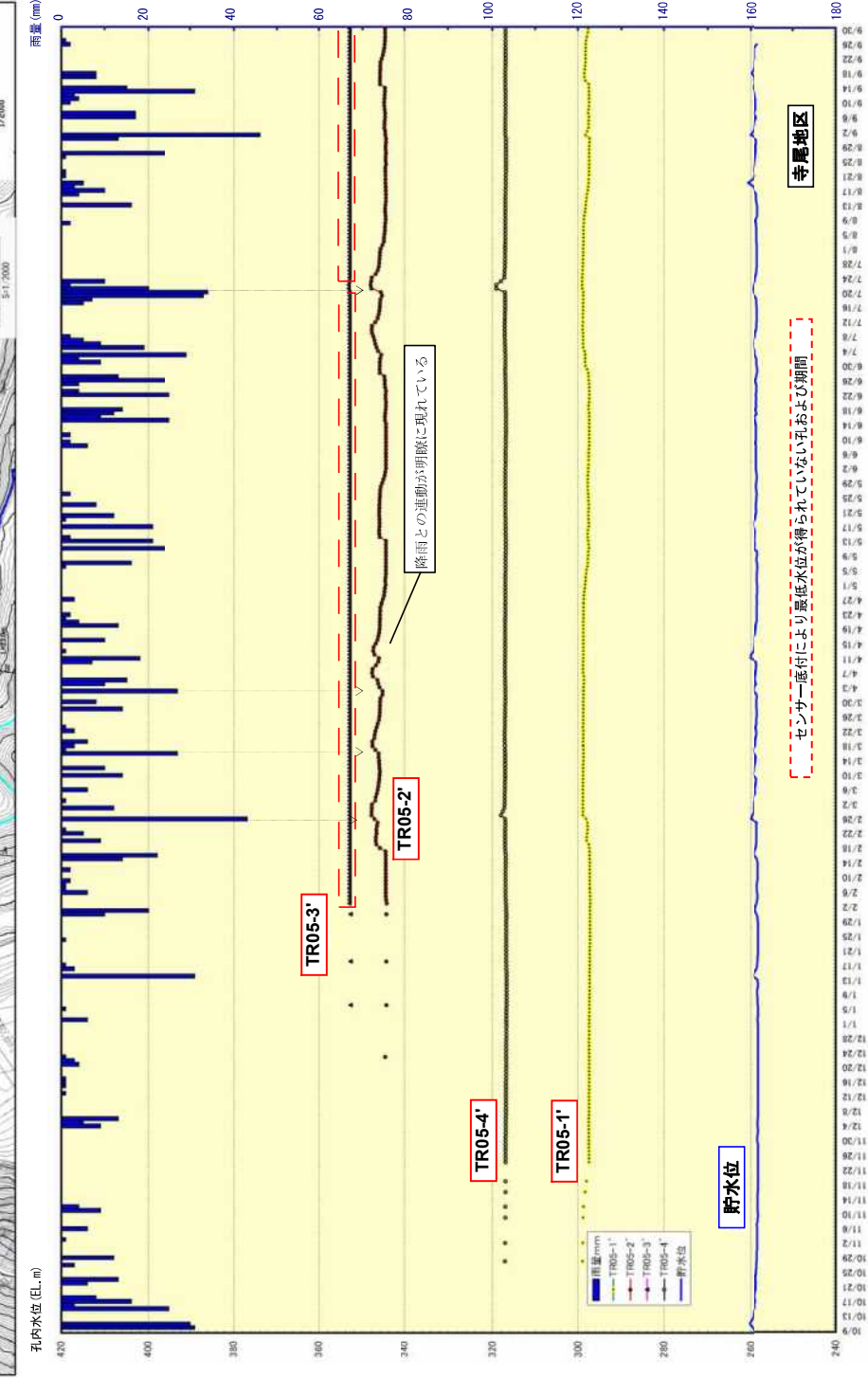
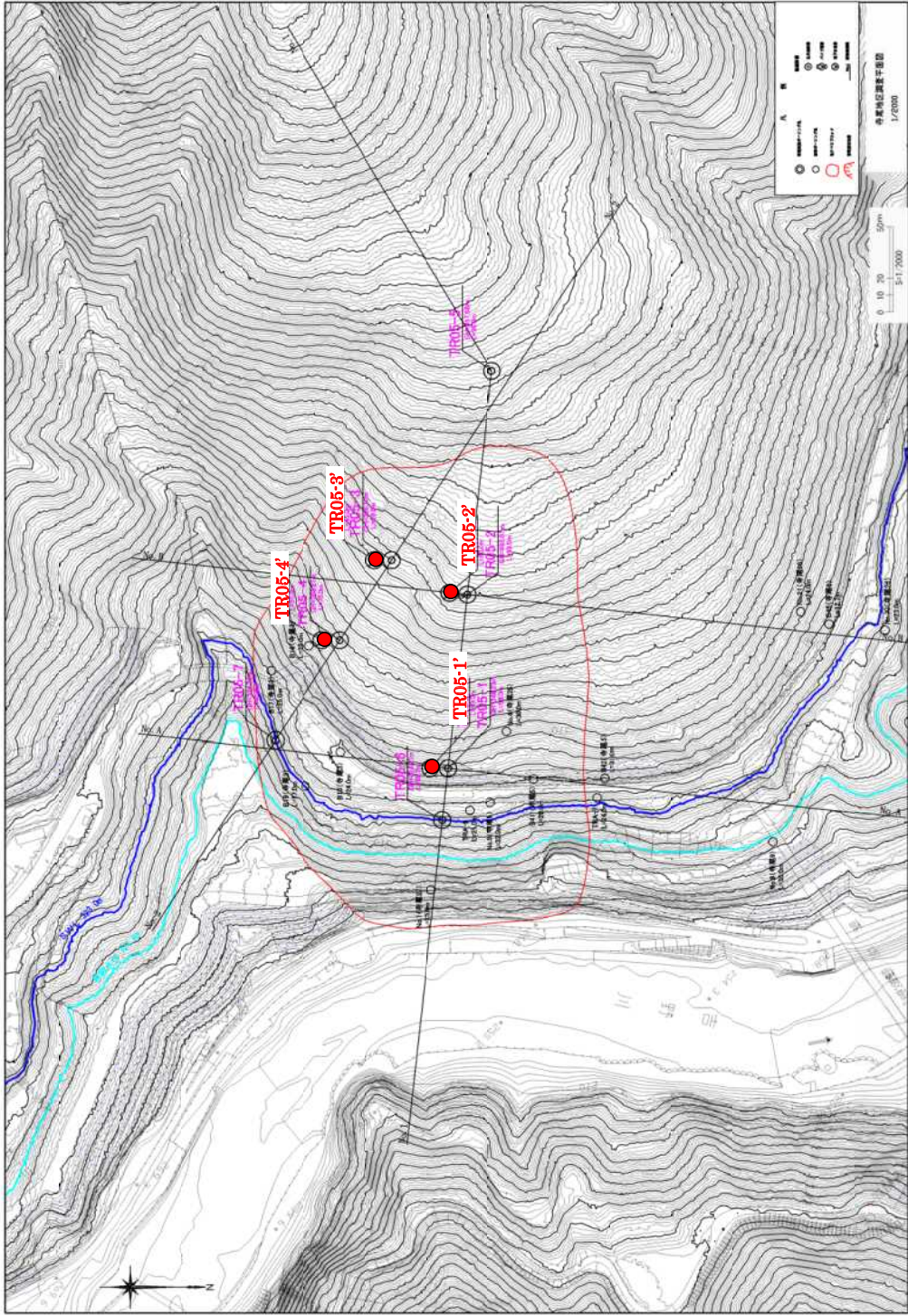
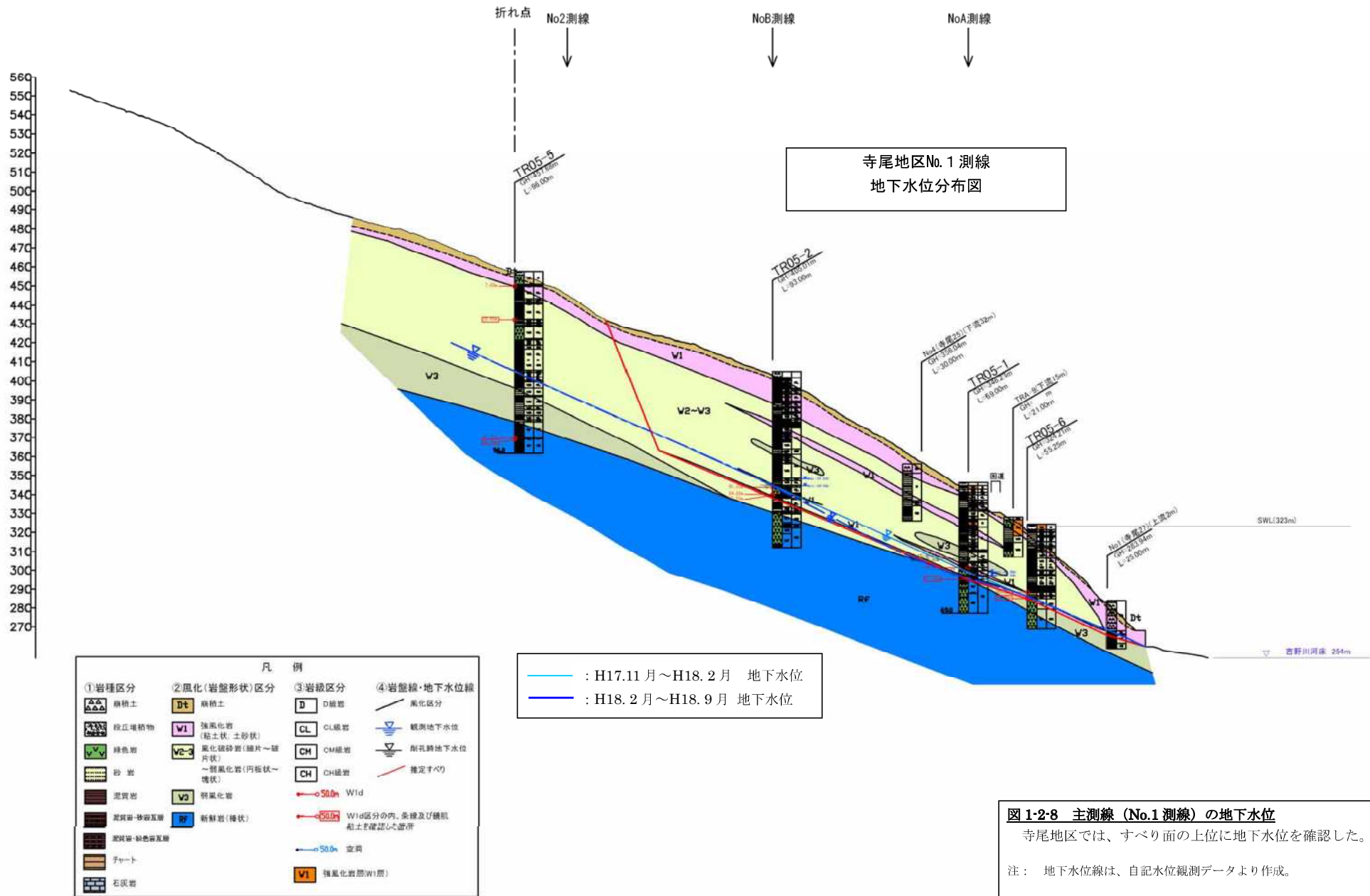
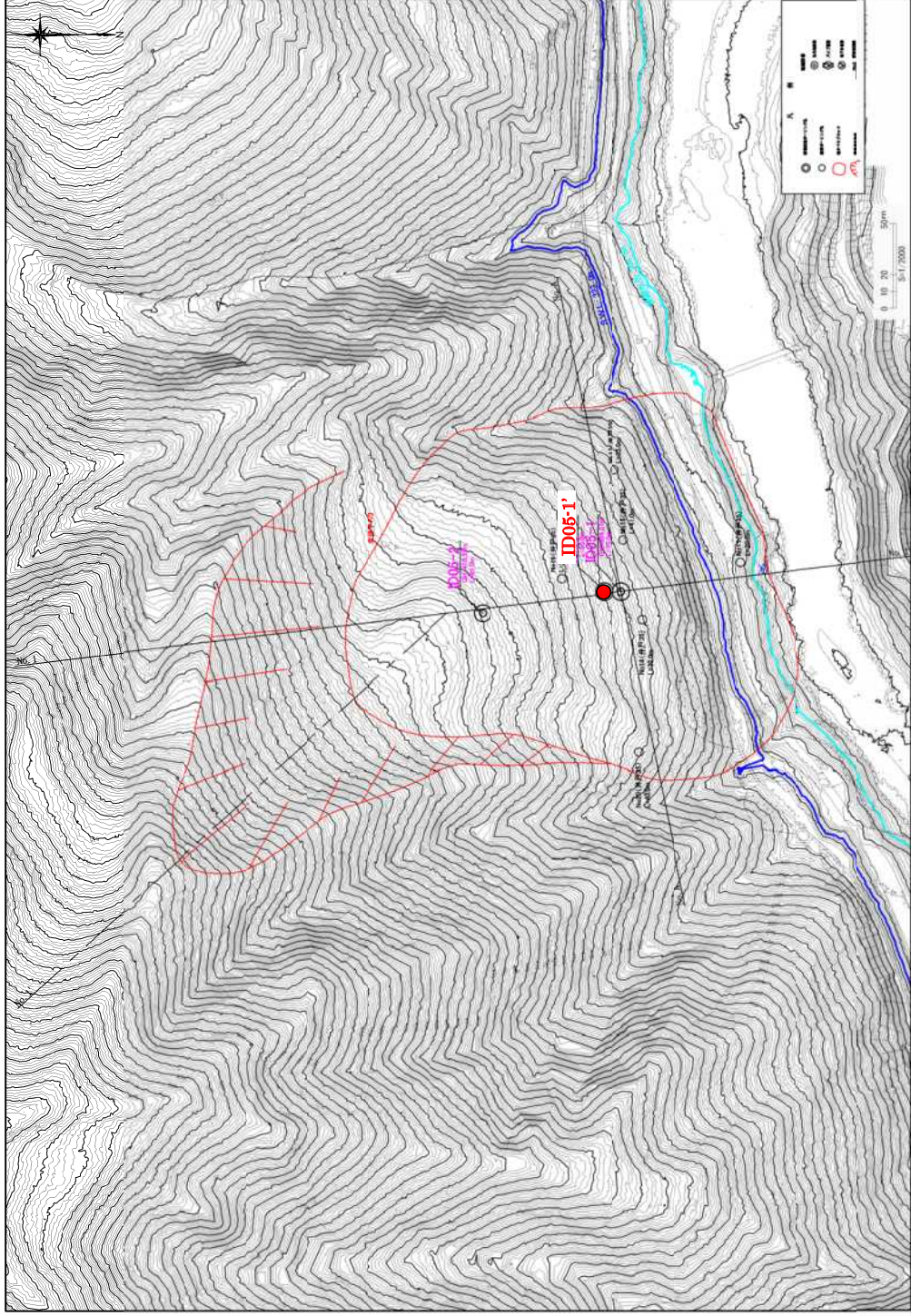


図 1-2-7 寺尾地区 水位観測点位置図および孔内水位変動図



1. 新たなデータによる地すべり機構の検証

事 項	要 点	備 考																																														
1-2-5 井戸地区	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 地下水位は、すべり面の上位に分布することを確認した。 地すべりブロック内の観測孔 ID05-1' 孔は、降雨に対する連動が明瞭である。 </div> <p>1) 地下水位観測孔の新たな観測結果</p> <p>(1) 地下水位変動</p> <p>図 1-2-9 に示した位置で観測した自記水位計観測結果を表 1-2-8 に示す。降雨の少ない時期である平成 17 年 11 月～平成 18 年 2 月と、多雨期を含む平成 18 年 3 月～平成 18 年 9 月データの変動幅は、それぞれ 6.36m と 5.84m であり大差はない。観測期間を通した水位変動は 6.76m である。</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-8 地下水位観測孔の自記水位観測結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">孔番</th> <th rowspan="3">センサー 深度</th> <th colspan="3">平成17年11月～平成18年2月</th> <th colspan="3">平成18年3月～平成18年9月</th> <th colspan="4">平成17年11月～平成18年9月</th> <th rowspan="3">備 考</th> </tr> <tr> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>最高水位</th> <th>最低水位</th> <th>変動幅</th> <th>中間</th> </tr> <tr> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> <th>GL. -m</th> <th>m</th> <th>GL. -m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ID05-1'</td> <td>54.00</td> <td>35.52</td> <td>41.88</td> <td>6.36</td> <td>35.12</td> <td>40.96</td> <td>5.84</td> <td>35.12</td> <td>41.88</td> <td>6.76</td> <td>38.17</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 降雨との相関</p> <p>ID05-1'孔は観測期間を通し、降雨との連動が明瞭である。平成 18 年 2 月末までの降雨量の少ない期間は、日雨量 20mm 程度以上の降雨に比較的鋭敏に連動する。降雨が多くなる平成 18 年 2 月末以降では、降雨に連動しやや緩やかな上昇・下降を示す。</p> <p>2) 地下水位面の分布</p> <p>自記水位計記録の水位を解析断面図に反映し図 1-2-10 に示す。井戸地区の地下水位は、すべり面の上位に分布することを確認した。</p>	孔番	センサー 深度	平成17年11月～平成18年2月			平成18年3月～平成18年9月			平成17年11月～平成18年9月				備 考	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	中間	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	ID05-1'	54.00	35.52	41.88	6.36	35.12	40.96	5.84	35.12	41.88	6.76	38.17		
孔番	センサー 深度			平成17年11月～平成18年2月			平成18年3月～平成18年9月			平成17年11月～平成18年9月					備 考																																	
				最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	最高水位	最低水位	変動幅	中間																																			
		GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m	GL. -m	m	GL. -m																																					
ID05-1'	54.00	35.52	41.88	6.36	35.12	40.96	5.84	35.12	41.88	6.76	38.17																																					



1-2-15

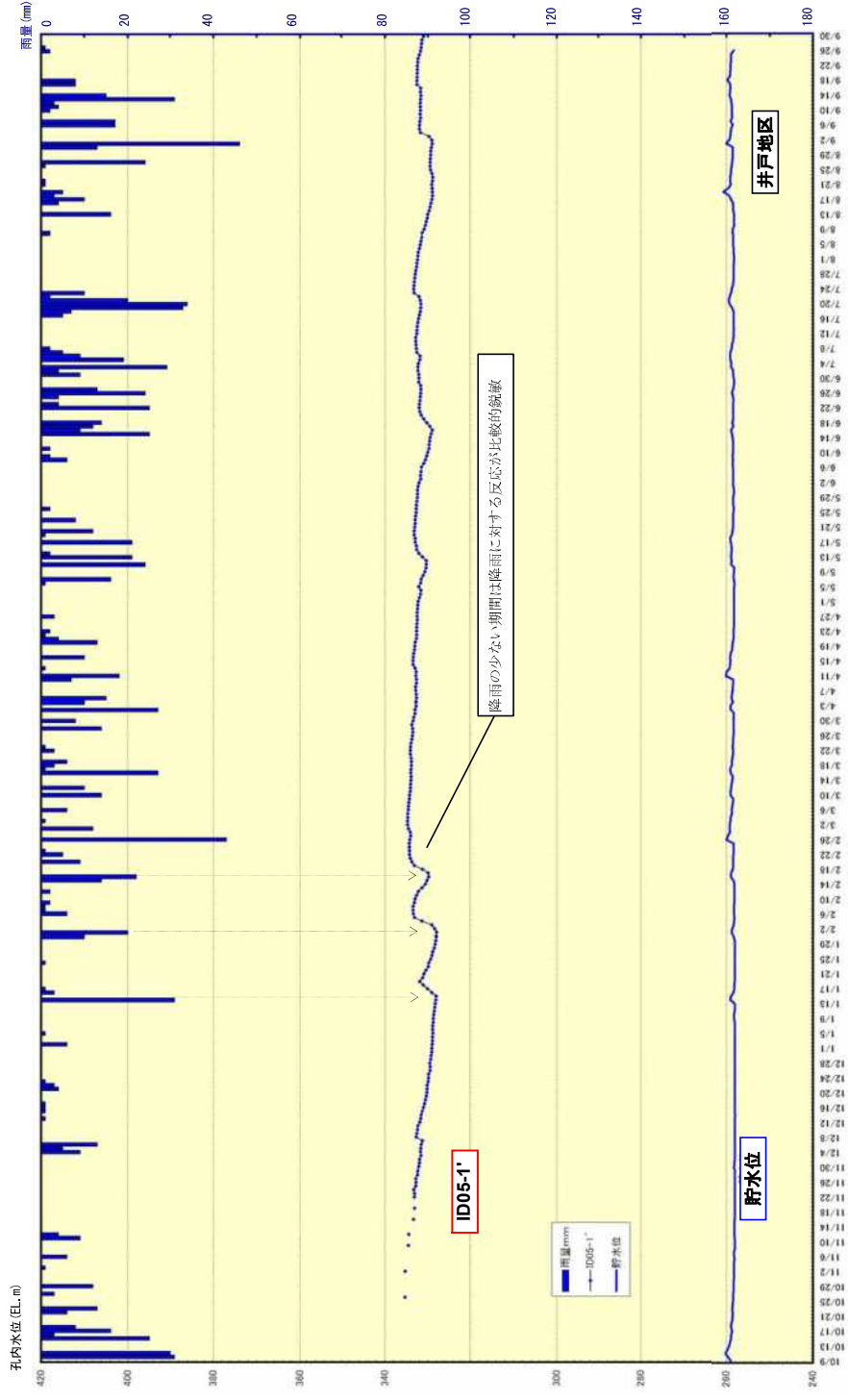


図 1-2-9 井戸地区 水位観測孔位置図および孔内水位変動図

井戸地区No.1 測線
地下水位分布図

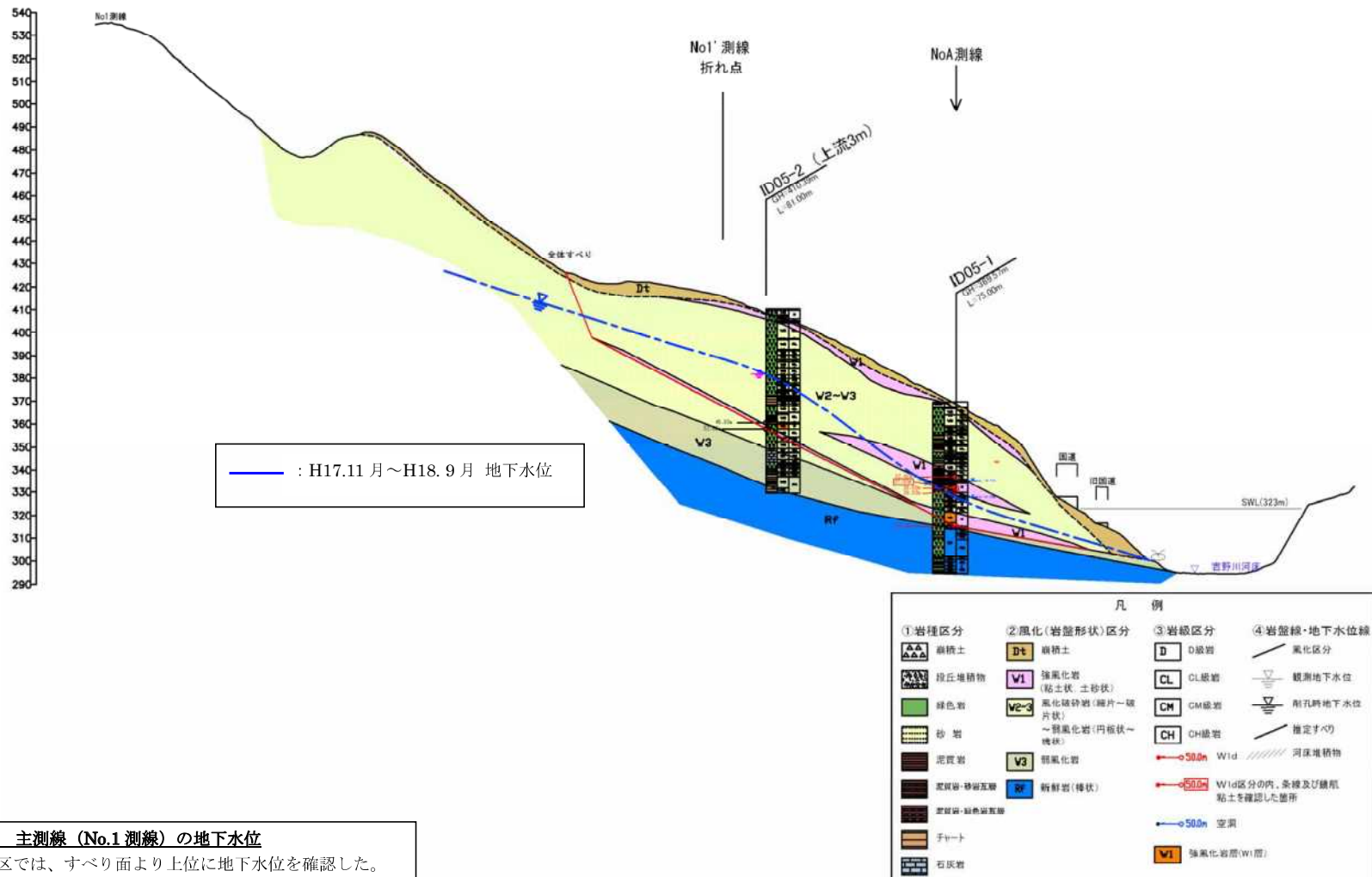


図 1-2-10 主測線 (No.1 測線) の地下水位

井戸地区では、すべり面より上位に地下水位を確認した。

注： 地下水位は、変更なし。